



服用の前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要なときに読むよう保管してください。

第②類医薬品

和漢洋薬 奥田脳神経薬 鎮静薬 配合

毎日の生活は、朝から晩まであらゆる事に神経を使い、一刻も気の休まる時がありません。まして現代のように目まぐるしく急テンポで変化する時代に適応して生きて行くためには、神経を酷使するのも止むを得ない状況にあります。

この様なストレスから、いろいろな神経症状を起こして苦しみ、うとうとい毎日を送っている人が大変多いものです。

奥田脳神経薬は、これらの神経症状を抑えるのに必要な鎮静、鎮痛等に効果のある和漢洋の薬剤を配合した、のみやすい錠剤の鎮静薬です。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の催眠鎮静薬、鎮静薬、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)
3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと(眠気があらわれることがある)
4. 服用時は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、または薬剤師に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。(4) 高齢者または虚弱者。(5) 本人または家族がアレルギー体質の人。
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7) 次の診断を受けた人。
腎臓病、肝臓病、心臓病、胃潰瘍、緑内障、呼吸機能低下
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師または薬剤師に相談すること
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|-----------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ、じんましん |
| 消 化 器 | 悪心・嘔吐、食欲不振、下痢 |
| 精神神経系 | めまい、不眠 |
| そ の 他 | どうき、のぼせ、倦怠感 |

(2) 5~6回服用しても症状がよくなる場合。

【効能・効果】 いらいら、不安感、頭痛、頭重、のぼせ、めまい、耳鳴り、首肩のこり

【用法・用量】 次の量を、さゆ又は水で服用してください。

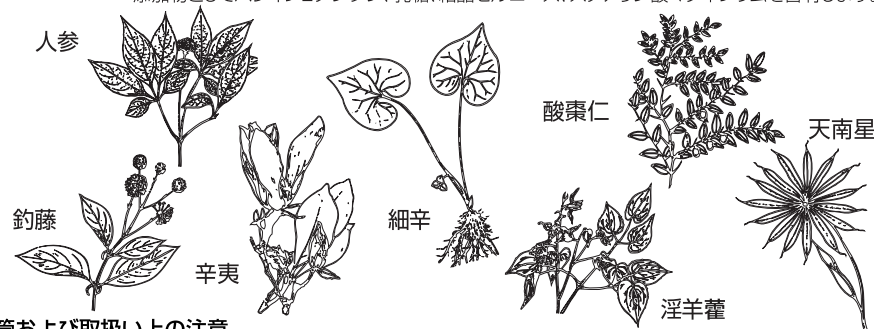
| 年 令 | 1回量 | 1日服用回数 |
|-----------|---------|--------|
| 大人(15才以上) | 5錠 | 2回 |
| 15才未満 | 服用しないこと | |

<用法・用量に関する注意>

1. 朝夕なるべく食後に服用してください。
2. 人により、就寝前に服用すると眠りにくくなることがありますので、このような方は就寝直前に服用しないで4~5時間前の服用をおすすめします。
3. 定められた用法・用量を厳守してください。

【成分・分量】 チョウトウ末(釣藤末)30mg・ニンジン末(人參末)475mg・サンソウニン(酸棗仁)30mg・テンナンショウ末(天南星末)30mg・シンイ末(辛夷末)30mg・インヨウカク末(淫羊藿末)30mg・サイシン末(細辛末)30mg・ルチン50mg・カフェイン水和物300mg・プロモバレリル尿素600mg・グリセロリン酸カルシウム300mg

添加物として/バレイシヨデンブ、乳糖、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウムを含有します。



保管および取扱上の注意

- (1) 直射日光をさけ、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり、品質が変わるのを防ぐため。)
- (4) ビン入り品は、服用のつどビンのふたをよくしめてください。
- (5) ビンの中の詰め物は、錠剤の破損を防止するために入れてありますので、開封後は捨ててください。
- (6) 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく早く服用してください。

このお薬についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記へお願いいたします。

奥田製薬株式会社 お客様相談窓口

☎ (06) 6351-2100 (代表) (午前9時から午後5時まで、土日祝日を除く)

奥田製薬株式会社
大阪市北区天満1丁目4番5号

ホームページ <http://www.okudaseiyaku.co.jp>